

「どうしたらいいのだろっ、何ができるのだろう」と思い悩んでいた一年前。新聞に掲載された小さな記事がきっかけで、復興支援に貢献したいという漠然とした思いが実現に向かうことになりました。四人の子育てに専念しながら、二十年間のPTA活動、七年間の町内会活動をしてきましたが、ちょうど子育てから手が離れたところでした。

その記事は、仙台市からの委託で実施された、起業を目指す人を対象にした連続セミナーでした。毎回すばらしい講師を迎えての勉強会は、す

東北復興日記

40



カフェつぶっこ オーナー店長
佐藤真紀さん

体験カフェ 来月末開店

べてが初めて知る事ばかりでした。その中で、社史的課題をビジネスで解決するソーシャルビジネスを知った時、「これだ！」と思いました。

私が起業を考えたのは

夫の故郷である宮城県丸森町です。県南部に位置し、南西部は福島県と隣接し、北部には阿武隈川が流れる豊かな自然と歴史の町です。しかし、少子高齢化で人口が減少して

おり、さらに3・11以降は放射能汚染による風評被害で観光客が激減、農業は活気を失っています。

私が書いた事業計画書が、驚いたことに内閣府の復興支援金を頂けることになりました。プランは加速していきました。コンサルタントのスパルタ指導についていけず、涙することも多々あり何度もあきらめかけたものの、「丸森町を元気にしたい」という強い気持ちで、背中を押してくれました。

体験・交流型「カフェつぶっこ」は、地元特産

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組み「結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。

の六穀米を使用したパン・ケーキを提供し、写真、農業体験・伝統料理教室など小さな体験を通じて地域と交流ができる場をめざします。たくさんの方が訪れ、のどかな風景を眺め、おいしいコーヒーを飲みながら、日本の未来を一緒に考える場になれば...と思います。